3類型	農林水産物	通巻番号	5－19－014
地域資源名	南高梅	認定日	平成19年10月12日
地　域	和歌山県みなべ町	所管省庁	農林水産省・経済産業省

事業名：梅酢を加工した『梅BX70』を添加する飼料は、畜産（鶏、豚等）、水産物の品質改善（抗酸化性：過酸化脂質の減少）の効果発揮と健康食品への展開

会社名：株式会社紀州ほそ川　　所在地：和歌山県日高郡みなべ町晩稲889

連絡先：TEL：0739-74-2739
FAX：0739-74-2793

ＨＰ：http://www.kisyuhosokawa.com/K1.html

事業概要（新たな活用の視点）

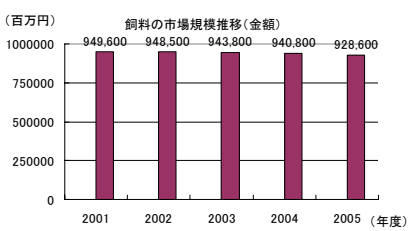
・和歌山県みなべ町の梅は江戸時代からの植栽に始まり、1965年最優秀品種に南高梅が選抜されるなど、長年にわたり梅干しのブランドとして全国的に有名である。
・梅干しの生産工程で塩漬けにする際の副産物として産出する梅酢は梅干しとほぼ同等の有効成分を有する。
・同社は、南高梅の梅干しの副産物である梅酢の有効成分に着目。研究開発を重ね、1999年梅エキスが完成。和歌山県養鶏研究所との協同研究により、鶏の強健性、生存率の向上、肉質の改善が見られる飼料の添加剤「梅BX70」を完成させた。

【梅BX70】

【紀州うめどり・うめたまご】

売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力
・飼料用原料として、飼料の利用性向上、肉質の品質向上等の効果をもつ木酢液がある。しかしながら、成分や品質にばらつきがあるため、飼料に添加する場合、ある程度の規定を要する。
・対して、「梅BX70」は、人間が食してきたものの副産物であるため、有害物質を一切含まず安全に活用出来る。
◆市場性
・配合飼料として、和歌山県下にて「紀州うめどり・うめたまご」としてブランド化が成功、現在、養殖真鯛の飼料用原材料として効果を検証中。「紀州梅まだい」としてブランド化予定。
◆販路
　今後、全国規模への展開を図り、「梅BX70」を飼料のみならず、ペットフード、健康食品等への市場への販路開拓を行う。



【飼料市場規模推移】

地域資源における関係事業者との連携

・原料の供給については、地元JAの協力を得て、さらなる拡大を予定している。